

2026年度 看護学科 総合型選抜Ⅰ期

入学試験過去問題 (解答例)

小論文

要約

読解力は、世の中のことを正しく理解する力である。それを鍛えるためには、知識だけでなくその運用力である教養が必要である。教養は、知識を自分の言葉にし、知識と知識を結びつけることで身につく。知識を蓄積し、おりにふれ振り返り、生活に活用し、さらに学び続けることで教養は鍛えられ、読解力が高められていく。(148字)

私の意見

コンピュータやスマホなどのデジタル技術が進化したことにより、人間にとって教養を身につける必要性がなくなったと考える「教養時代の終焉」ということが、現在言われている。確かに検索すれば一瞬のうちに、知識が得られる。しかし、それによって、正しく世の中のことや他者のことが理解できているのだろうか。教養は単なる知識の蓄積ではなく、自らの経験や他から学んだ知識を基にして、世の中や人間のあるべき姿などを自らが考えることによって身につけていくものだと思う。フェイクニュースや陰謀論などが跋扈する中、何が真実なのか不確実な時代である。しっかりとした教養を身につけ、真実をつかみ取る読解力を高めていきたいと思う。(298字)